



Profile



氏名：平出将孝(Hiraide Masataka)
 出身：福島県
 職種：手工芸
 期間：2017年10月～2019年9月
 赴任地：東ティモール首都ディリ
 活動：配属先は文化庁の主に工芸品を取り扱う部署で生産者グループの支援を行っています。

Timor-Leste

公用語：テトゥン語ポルトガル語
 人口：118万人(岩手県ぐらい)
 面積：約15,000km(岩手県ぐらい)
 宗教：大半がカトリック
 通貨：アメリカドル
 歴史：ポルトガルの植民地後、インドネシアが制圧。1999年の住民投票でインドネシアからの分離・独立を選択し、2002年に独立国家となりアジアで一番若い国と呼ばれている。



1 近況報告

クリスマスに向け、まちの至る所にキリストの誕生をモチーフにしたオブジェが飾られます。

また去年と同様、年末年始にお腹を壊しました。他の隊員も体調を崩したメンバーが多かったようです。年末年始は”雨季は食べ物に気をつける”とみんなに伝えたいです。



大使夫妻と天皇の誕生を祝うレセプションで

2 配属先の活動

12月に入るとクリスマスの準備で第2週以降は休暇を消化する同僚も多いです。年末は28日まで仕事がありましたが、年末に自分を含め職場に配属されたJICAボランティア2人、同僚1人の合計3人になった時は違和感を感じました。

(1) 日本大使館でのイベントで

天皇の誕生を祝うレセプションが12月4日に大使館で開催されました。そこで、日本文化の紹介の一つで竹キャンドルを紹介させて頂きました。



準備の様子



一緒に作成した
TimorAidのメンバーと



活躍していた料理隊員と

現地のNGOのTimor-Aidと協力して作成したキャンドルは、冒頭の大使の挨拶の中でも紹介していただき、多くの人にお声がけいただきました。東ティモールにも自生している竹は、家の壁や机や椅子などに使われていましたが、今までにない竹の新たな魅力を伝えることができたと思います。

(2) 学校の先生と一緒に竹細工

旧ポルトガル領の影響が残る東ティモールにはポルトガル人が経営する学校が幾つかあります。そのなかの一つの学校で、先月はクリスマスツリーに飾る星を竹で作りましたが、学校の先生方が継続して竹細工をやりたいということで、一緒に竹割りから作りました。



作成の様子



完成したフォトフレーム



竹の星が飾られたツリーは
国会議事堂に飾られました

(3) 彫刻刀をお届けしました

一緒に活動している木彫り職人に日本の彫刻刀をお届けしました。彼らは、我々が中学生頃に使っていたような彫刻刀をインドネシアから約3万円で買って使っていました。前から欲しいと言われていたので、日本から道具を送る用事に合わせて彫刻刀セットを3つ購入。彼らは無料でもらうことに慣れていて道具を大事に使わない懸念があるので、彫刻刀はプレゼントではなく本体価格を支払ってもらいました。これで彼らの仕事のクオリティと仕事スピードが上がったら嬉しいです。リーダー曰く「日本の道具の質がいいことを俺は知ってるぞ。インドネシアが一番で、日本が2番目だ」という話に苦笑いしました。《第15号終わり》

